

# 建築と社会

Architecture and Society  
Journal of the Architectural Association of Japan

日本建築協会  
2019 06

Vol.100 No.1167

## ■特集予告

- 7月号 / 第66回青年技術者
- 8月号 / 建築の仮設性と恒久性

## 特集 第2回 片岡安賞 (日本建築協会論考コンクール) 募集テーマ：建築をつくるひと —これからの姿を問う

審査報告	審査委員会	8
【第1次審査通過論考】		
片岡安賞	集団意識と建築～1910年からの問いかけ～●吉野良祐	12
奨励賞	「ポスト建築家」時代の建築家たち●吉田和弘	17
奨励賞	DIYとギフトエコノミー●山口 純	22
-----		
会告	令和元年度定時総会、篠原祥氏講演会と会員交流懇親会のご案内 第2回学生のための現場見学会「ザ・パークハウス神戸タワー (旧ファミリアホール)」現場見学会、追手門学院大学茨木総持寺キャンパス見学会 日本建築協会中国支部 主催 若手・新入社員技術講習会、予告 第39回大阪市景観建築賞 (大阪まちなみ賞) 2019年度 第65回工高生デザインコンクール作品募集 第3回片岡安賞 (日本建築協会論考コンクール) 募集要項	1 2 7
作品作風	S社社員食堂	4
gallery	本と建築●岡田良子	6
再読	兵庫県立図書館・明石市立図書館●竹山清明	28
関西の建築		
法令コーナー	適用除外制度を活用した京町家の保存活用 —京町家の意匠に合う木製防火雨戸の研究開発—●林敏太郎	31
設備の頁	BIM遮音設計ツールの開発について●木村文紀	32
建築と社会を考える	旧奈良監獄と旧奈良少年刑務所 学校的な場所としての旧奈良少年刑務所●原 泉・神吉紀世子・太田裕通	34
レポート	会員の集い IN TOKYO トークセッションと懇親の夕べ	38
Member's Forum	U-35委員会企画「設計者のしごと」 —組織で働くU-35世代と建築— 活動報告	40
information	塩田千春展：魂がふるえる／特別展 印象派からその先へ—世界に誇る吉野石膏コレクション／メスキータ／山沢栄子 私の現代	42
月間の動き	2019年 4月	44

## 今月の表紙

「建築と社会」vol.15 1932年2月号「最近建築研究1」より阪急ビルディング『正面廣場』

阪急ビルは、1929年3月に第一期工事が1931年11月に第二期工事が竣工した、地上8階・地下2階の鉄筋鉄骨コンクリート造のビルである。設計は阿部美樹志。

この『正面廣場』は、電車の乗降客と百貨店や食堂へ向かう人など最も交通量が多い場所であり、利用者へ最初に印象付けられる場所として2階吹き抜け、約460㎡の広さを持たせた空間で、天井周りの装飾および照明器具は東京帝国大学名誉教授で工学博士の伊東忠太が設計した。奥に見える妻の東西には天馬(白馬)・龍・獅子・鳳凰のモザイク壁画がデザインされ、現在は建て替えられた阪急百貨店13階レストラン内に移設、複製されている。

